

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催
文部科学省 後援

令和5年度 第97回 簿記実務検定試験 第2級

(令和6年1月28日実施)

時間 10時50分から12時20分 (制限時間90分)

注意事項

- 1 監督者の指示があるまで、問題を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は1ページから7ページまであります。
- 3 問題用紙の落丁や印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督者の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には応じません。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 途中退室は原則できません。
- 6 試験終了後、問題用紙も回収します。

| 受 験 番 号 |
|---------|
| |

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

| | | | | |
|-----|---|-----------|---------|-------------|
| 現 | 金 | 当 座 預 金 | 受 取 手 形 | 電 子 記 録 債 権 |
| 売 掛 | 金 | 仮 払 消 費 税 | 支 払 手 形 | 電 子 記 録 債 務 |
| 買 掛 | 金 | 仮 受 消 費 税 | 売 上 | 受 取 利 息 |
| 仕 入 | | 支 払 利 息 | | |

- a. 群馬商店は、得意先の高崎商店に対する売掛金 $\yen 768,000$ について、同店の承諾を得て、電子債権記録機関に電子記録債権の発生記録の請求をおこなった。
- b. さきに、東京商店に対する買掛金の支払いのために振り出した約束手形 $\yen 417,000$ について、支払期日の延期を申し出て、同店の承諾を得た。よって、支払期日の延期にともなう利息 $\yen 2,000$ を加えた新しい手形を振り出して、旧手形と交換した。
- c. 徳島商店は、商品 $\yen 385,000$ (消費税 $\yen 35,000$ を含む) を売り渡し、代金は掛けとした。ただし、消費税の処理方法は税抜き方式により、仮受消費税勘定を用いている。

2 次の各問いに答えなさい。

- (1) 令和5年/2月3/日における栃木商店(決算年/回 /2月3/日)の次の建物台帳と総勘定元帳(一部)によって(ア)から(エ)の金額を答えなさい。

| 建 物 台 帳 | | | | | | | |
|---------|----|----|-----------------|------------|-----------|------------|-----|
| 所 在 地 | | | 栃木県栃木市片柳町5-1-30 | | 耐用年数 | 22 年 | |
| 用 途 | | | 店 舗 | | 償却方法 | 定額法 | |
| 登録番号 | | | 1501 | | 残存価額 | 零 (0) | |
| 日 付 | | | 摘 要 | 取得価額 | 償 却 額 | 残 高 | 備 考 |
| 年 | 月 | 日 | | | | | |
| 2 | / | / | 小切手払い | 39,600,000 | | 39,600,000 | |
| | 12 | 31 | 減価償却 (1期目) | | 1,800,000 | 37,800,000 | |
| 3 | 12 | 31 | 減価償却 (2期目) | | () | (7) | |
| 4 | 12 | 31 | 減価償却 (3期目) | | () | () | |
| 5 | 12 | 31 | 減価償却 (4期目) | | () | () | |

令和5年/2月3/日における総勘定元帳(一部)

| 建 物 | |
|----------------|-------------------|
| 1/1 前期繰越 () | 12/31 次期繰越 (イ) |
| 建物減価償却累計額 | |
| 12/31 次期繰越 () | 1/1 前期繰越 (ウ) |
| () | 12/31 減価償却費 (エ) |
| | () |

- (2) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

a. 簿記には、すべての取引について発生した順に記録をする仕訳帳と、財務諸表を作成するときに資料となる総勘定元帳の2つの帳簿がある。これらは、簿記の仕組みを支える最低限必要な帳簿であるため という。

1. 複式簿記 2. 集合勘定 3. 補助簿 4. 主要簿

b. 商品売買に関する取引を3分法で記帳するとき、商品を売り渡した場合は、売上勘定に記入する。この売上勘定を英語では という。

1. Purchases account 2. Sales account 3. Cash account 4. Checking account

(3) 支店会計が独立している高知商店（個人企業 決算年／回 12月31日）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- ア. 本支店合併後の現金
 イ. 本支店合併後の当座預金
 ウ. 本支店合併後の買掛金
 エ. 本支店合併後の当期純利益

資 料

i 12月30日における元帳勘定残高（一部）

| | 本 店 | 支 店 |
|---------|-------------|-------------|
| 現 金 | ¥ 405,000 | ¥ 75,000 |
| 当 座 預 金 | 1,347,000 | 342,000 |
| 売 掛 金 | 1,182,000 | 431,000 |
| 支 払 手 形 | 371,000 | — |
| 買 掛 金 | 804,000 | 415,000 |
| 本 店 | — | 634,000（貸方） |
| 支 店 | 634,000（借方） | — |

ii 12月31日における本支店の取引

- ① 本店は、支店の売掛金 ¥81,000 を現金で受け取った。
 支店は、その報告を受けた。
 ② 本店は、支店の広告料 ¥35,000 を小切手を振り出して立て替え払いした。
 支店は、その報告を受けた。

iii 12月31日における本支店間以外の取引

- ① 本店は、土佐商店に対する本店の買掛金 ¥192,000 の支払いのため、約束手形を振り出して支払った。

iv 当期における本支店それぞれの収益総額および費用総額

| | | |
|----|------|-------------------------------|
| 本店 | 収益総額 | ¥19,105,000 |
| | 費用総額 | ¥18,304,000 |
| 支店 | 収益総額 | ¥ 5,891,000 |
| | 費用総額 | ¥ 5,746,000（資料ii②の広告料も含まれている） |

v 資料ii，iiiの取引処理後における本支店合併後の貸借対照表

| 貸 借 対 照 表 | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 高知商店 | | 令和5年12月31日 | |
| | | (単位：円) | |
| 資 産 | 金 額 | 負債・純資産 | 金 額 |
| 現 金 | (ア) | 支 払 手 形 | () |
| 当 座 預 金 | (イ) | 買 掛 金 | (ウ) |
| 売 掛 金 | () | 借 入 金 | 600,000 |
| 商 品 | 898,000 | 資 本 金 | 3,000,000 |
| 備 品 | 1,491,000 | 当 期 純 利 益 | (エ) |
| | () | | () |

3 神奈川商店では3伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、

- (1) 〃月〃日の略式伝票を集計したさいの、仕訳集計表の（ア）から（ウ）に入る金額を計算しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。
- (2) 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の普通預金勘定の残高を計算しなさい。ただし、〃月9日の普通預金勘定の残高は¥3,275,200（借方）であった。

取 引

〃月〃日 横浜商店に商品 ¥58,000 を売り渡し、代金は現金で受け取った。
 〃 日 鎌倉家具店から備品 ¥291,000 を購入し、代金は現金で支払った。

| 入金伝票 | | 振替伝票（借方） | | 振替伝票（貸方） | |
|---------|---------|----------|---------|----------|---------|
| 売掛金 | 42,600 | 売掛金 | 187,000 | 売上 | 187,000 |
| 売掛金 | 56,800 | 仕入 | 269,500 | 買掛金 | 269,500 |
| 前受金 | 100,000 | 広告料 | 67,400 | 普通預金 | 67,400 |
| 受取手数料 | 3,000 | 買掛金 | 134,000 | 普通預金 | 134,000 |
| 売掛金 | 98,700 | 普通預金 | 86,200 | 売掛金 | 86,200 |
| () () | | () () | | () () | |

| 出金伝票 | |
|---------|---------|
| 買掛金 | 38,000 |
| 買掛金 | 129,000 |
| 消耗品費 | 3,400 |
| 前払金 | 85,400 |
| 普通預金 | 400,000 |
| () () | |

| 仕訳集計表 令和6年〃月〃日 | | | | |
|-------------------|----|-------|----|-----|
| 借方 | 元丁 | 勘定科目 | 元丁 | 貸方 |
| | | 現金 | | (ア) |
| | | 普通預金 | | |
| | | 売掛金 | | |
| | | 前払金 | | |
| | | 備品 | | |
| (イ) | | 買掛金 | | |
| | | 前受金 | | |
| | | 売上 | | |
| | | 受取手数料 | | |
| | | 仕入 | | |
| | | 広告料 | | |
| | | 消耗品費 | | |
| | | | | (ウ) |

4

千葉商店の下記の取引について、

- (1) 総勘定元帳に記入しなさい。
- (2) 補助簿である現金出納帳、仕入帳、買掛金元帳、A品の商品有高帳に記入しなさい。
- ただし、i 総勘定元帳は、日付と金額のみを記入すればよい。
- ii 商品有高帳は、先入先出法により記帳している。
- iii 現金出納帳、仕入帳、買掛金元帳、商品有高帳は月末に締め切るものとする。
- iv 消費税については考えないものとする。

取 引

/月/日 浦安商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 300個 @ ¥1,120

B品 60〃 〃 〃 550

/2日 全商銀行の当座預金口座より、次の小切手#ZS35007を振り出して現金を引き出した。

| | | | |
|---------|----------|-----------|----------|
| ZS35007 | | 令和5年1月12日 | |
| 金額 | ¥200,000 | 振先 | 当店 |
| 摘要 | 現金引き出し | 残高 | ¥562,000 |

ZS35007 小切手

支払地 千葉県千葉市中央区塩田町372

株式会社 全商銀行 千葉支店

金額 **¥200,000**

上記の金額をこの小切手と引き替えに
持参人へお支払いください
拒絶証書不要

振出日 令和5年1月12日 振出地 千葉県千葉市 振出人 千葉 一郎

千葉県千葉市中央区松波2-22-48 千葉商店

全国 5001 0914-019

千葉

/5日 君津商店から次の商品を仕入れ、代金は現金で支払った。

C品 400個 @ ¥350

/7日 浦安商店に対する売掛金 ¥604,000について、同店より現金で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

22日 成田商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A品 250個 @ ¥840

D品 100〃 〃 〃 530

23日 館山商店に対する買掛金 ¥148,000を、小切手#ZS35008を振り出して支払った。

24日 22日に成田商店から仕入れたD品をすべて返品した。なお、この代金は買掛金から差し引くこととした。

D品 100個 @ ¥530

次ページに続く

25日 浦安商店に次の商品売り渡し、代金は掛けとした。

A品 150個 @ ¥1,120
C品 200〃 〃 〃 510

〃日 上記の商品売り渡したさい、発送を船橋運送に依頼し、代金は現金で支払い、次の領収証を受け取った。なお、発送にかかった費用は当店負担のものである。

| | |
|---|--|
| 領 収 証 | |
| No. 0015923 | |
| 令和5年1月25日 | |
| 千葉商店 御中 | |
| ¥17,000 - | |
| ただし、配達料金として 上記正に領収いたしました。 | |
| 船橋運送 千葉県船橋市市場4-5-1 047-422-XXXX | |
|  | |

29日 成田商店に対する買掛金について、次の請求書を受け取っていたが、本日、小切手#ZS35009を振り出して支払った。

| | | | | | | |
|--------------------|-----------|------|-----------|----------------------|-----------|-----|
| 請 求 書 | | | | 2023年1月20日 No.230102 | | |
| 千葉県千葉市中央区松波2-22-48 | | | | | | |
| 千葉商店 御中 | | | | 成田商店 | | |
| 毎度ありがとうございます。 | | | | 千葉県成田市松崎 20 | | |
| 下記の通りご請求申し上げます。 | | | | TEL 0476 (26) XXXX | | |
| 前回ご請求分 | ご入金額 | 繰越金額 | 今回お取引金額 | 今回ご請求金額 | | |
| ¥ 209,000 | ¥ 209,000 | ¥ 0 | ¥ 391,000 | ¥ 391,000 | | |
| 年 月 日 | 商 品 名 | 数 量 | 単 位 | 単 価 | 金 額 | 備 考 |
| 2022.12.27 | A品 | 400 | 個 | ¥ 820 | ¥ 328,000 | |
| | B品 | 150 | 個 | ¥ 420 | ¥ 63,000 | |
| | 以下余白 | | | | | |

5

埼玉商店（個人企業 決算年／回 12月31日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 貸借対照表を完成しなさい。
- (2) 損益計算書に記載する売上原価の金額を求めなさい。

元帳勘定残高

| | | | | | |
|---------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 現 金 | ¥ 410,000 | 当 座 預 金 | ¥ 2,310,000 | 受 取 手 形 | ¥ 1,200,000 |
| 売 掛 金 | 1,450,000 | 貸 倒 引 当 金 | 9,000 | 有 価 証 券 | 2,700,000 |
| 繰 越 商 品 | 1,620,000 | 備 品 | 1,500,000 | 備品減価償却累計額 | 960,000 |
| 土 地 | 2,000,000 | 支 払 手 形 | 918,000 | 電子記録債務 | 200,000 |
| 買 掛 金 | 1,075,000 | 借 入 金 | 1,600,000 | 従業員預り金 | 340,000 |
| 資 本 金 | 7,000,000 | 売 上 | 28,576,000 | 受 取 地 代 | 198,000 |
| 仕 入 | 21,745,000 | 給 料 | 3,984,000 | 支 払 家 賃 | 1,452,000 |
| 保 険 料 | 294,000 | 租 税 公 課 | 175,000 | 支 払 利 息 | 36,000 |

付 記 事 項

- ① 浦和商店に対する売掛金 ¥150,000 が当店の当座預金口座に振り込まれていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,409,000
- b. 貸 倒 見 積 高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ／％と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定率法による。ただし、償却率は40％とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
南東商事株式会社 1,500株 時価 1株 ¥1,750
- e. 保険料前払高 保険料のうち ¥168,000 は、本年10月1日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- f. 利 息 未 払 高 ¥ 12,000
- g. 地 代 未 収 高 ¥ 18,000

6

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

| | | | |
|-----------|---------------|-------------|-------|
| 当 座 預 金 | 仮 払 法 人 税 等 | 未 払 法 人 税 等 | 資 本 金 |
| 資 本 準 備 金 | 繰 越 利 益 剰 余 金 | 創 立 費 | 開 業 費 |
| 株 式 交 付 費 | 損 益 | | |

- a. 香川商事株式会社は、企業規模拡大のため、あらたに株式30,000株を1株につき ¥1,600 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥700 は資本金に計上しないことにした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ¥250,000 は小切手を振り出して支払った。
- b. 愛媛産業株式会社は、第18期の決算の結果、当期純利益 ¥914,000 を計上した。
- c. 茨城物産株式会社（決算年／回）は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税及び事業税の合計額 ¥1,580,000 の2分の1を小切手を振り出して納付した。